



日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部 活動報告

発行人：板東 浩
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・松原宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 「高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラム-キックオフ・セレモニー」参加報告

高知大学医学部家庭医療学講座 森尾真明

平成今年度、高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラムに二人の専攻医が加わり、4月25日に標記のセレモニーが開催されました。高知県立病院群の先生方や事務職員、高知県関係各部署の方々また総合診療専門研修Iの認定指導医の先生方、高知大学総合診療部、家庭医療学講座教員、高知大学医学部学生さんと多数の参加者がありました。

1) プログラム運営・研修管理委員会：当プログラムは日本プライマリ・ケア連合学会のVer.2.0基準の認定を受け、新しい専門医制度の認証も視野に入れています。セレモニーに先立ち、プログラム運営・研修管理委員会が開催され、委員会のメンバーや会の規約が確認されました。また3年間の研修ローテーションや県全体で総合医・家庭医を育成していくという方向性が確認されました。

2) 指導医講習会「SEA (Significant Event Analysis) の実践」：総合医・家庭医を育成していくための Faculty Development (FD) として、大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座特任教授の鈴木富雄先生をお招きし、SEAを模擬体験するセッションをしていただきました。

まず鈴木先生による「振り返りとSEAの概略」と題したミニレクチャーでは、医師は省察的实践家という側面があり、経験からの振り返りを繰り返しながらプロフェッショナルとして成長していくというお話がありました。またエクスペリエンス(経験)→リフレクション(振り返り)→セオリー(一般化)→プランニング(計画)という「経験的学習サイクル」を紹介され、振り返りが極めて重要な鍵となるステップであることを強調されました。



その後、3人の指導医からそれぞれの Significant Event を語っていただきました。SEAにふさわしい深い事例が提示され、鈴木先生のファシリテートによって、SEAの重要性を実感できるグループワークとなりました。さっそく専攻医の振り返りの現場で活用できそうです。

3) キックオフ・セレモニー：県立あき総合病院の前田博教授院長より、総合診療医の3つの特徴として「専門医にまけない臨床スキル」「断らない救急対応」「地域を見て連携する適応能力」があることがお話しされ、専攻医に Good physician になってほしいと開会の挨拶がありました。



3-1) 専攻医のショーケース・ポートフォリオ：続いて二人の研修医によるスライドショーでの自己紹介がありました。さっそく指導医からのアドバイスがあったようで、1枚のスライドにひとつのメッセージという構成で作られていました。テンポもよく、研修医の人となりがよくわかる素晴らしいプレゼンテーションでした。

3-2) 記念講演会「総合診療医を育てるという事」：鈴木先生より、

総合診療医とはどのようなものか、またどのように指導していくかなど具体的で包括的な内容についてご講演いただきました。

まず総合診療医の本質について「患者の問題に真正面に向き合ってベストを尽くす」「包括的に人を見る」「統合する専門」というキーワードがあることをお話されました。そしてアメーバのごとく、自在に形を変えて、その場のニーズに対応する能力があり、どのようなセッティングの場所でも対応できるフレキシビリティが重要であることを強調されました。

次に先日(2015年4月21日)、日本専門医機構の「総合診療専門医に関する委員会」の報告として公開された研修カリキュラム案の中から、総合診療専門医の到達目標となる6つのコアコンピテンシー(①人間中心の医療・ケア、②包括的統合アプローチ、③連携重視のマネジメント、④地域指向アプローチ、⑤公益に資する職業規範、⑥診療の場の多様性)を紹介され、各項目について鈴木先生の経験も交えながら、わかりやすくご説明いただきました。

その後、研修指導方法について、学習者のレベルに応じて研修内容を調整すること、効果的なフィードバックのコツ、注意すべき隠れたカリキュラムの罠、また経験的学習サイクルを意識した振り返りの重要性などについてお話いただきました。

参加した専攻医からは、総合医・家庭医について「これまで何となくイメージでつかんでいたが、今回のお話で言語化されて初めてスッキリと理解できた」との感想がありました。

幡多けんみん病院の橘壽人院長より閉会のあいさつでは、総合診療専門医の6つのコアコンピテンシーは幡多けんみん病院の理念とも重なる部分があること、また今後、総合医・家庭医の育成のために各医療機関と連携・協働していきたい、と締めくくられました。

ついに高知県立病院群とへき地医療機関、そして高知大学と県全体で総合医・家庭医を養成するための研修プログラムが始動しました。家庭医療学講座は専攻医教育をサポートしつつ、プログラムの質の向上に関わっていきます。



★2 愛媛県研究会における最近の活動

四国ブロック副支部長(愛媛) 川本龍一

・第11回在宅医療連携セミナー in 新居浜(平成27年3月28日新居浜)

本学会会員である加藤正隆先生の座長により「超高齢社会に期待される地域医療への取り組み」と題して講演をしました。新居浜地域の保健・医療・福祉に関わるあらゆる職種が集まる会でとても高齢社会に向けての有意義な議論が交わされました。

・しまなみ海道臨床推論道場ワークショップ(平成27年7月19-20日開催)

対象：全国の医学生、若手医師。

内容：中四国を結ぶ「しまなみ海道」である尾道、生口島、大島、松山を大型バスで移動しながら「しまなみ」の魅力(都合により降りられない島に関しては、主催者側がお土産を用意し、島のアピールをする)を発信し、4会場で地域医療の現状と医師の能力の1つとして不可欠とされる臨床推論を学びます。勉強会の指導は各方面でご活躍中であり、医学教育に非常に熱心な先生



方に依頼しています。勉強会① 真言宗浄土寺(問診クエスト 佐田先生 2.5 時間) を実施・浄土寺参拝、勉強会② 耕三寺博物館 (フィジカルクラブ 平島先生 2 時間)・耕三寺参拝、勉強会③ 村上水軍博物館 (ケースカンファレンス 徳田先生 2 時間)・博物館観光。



翌日午前は学生主体の多職種連携ワークショップを開催します。

・第15回愛媛プライマリ・ケア研究会 (平成27年6月27日、松山市)

一般演題約9題と特別講演には自治医科大学地域医療センター総合診療部門教授：松村正巳先生をお招きして「実地医家のための臨床推論」のご講演をいただく予定です。

・第3回えひめ多職種連携ワークショップ (平成27年10月頃予定)

対象：医学生、薬学生、看護学生、すべての医療系学生、若手医療従事者

内容：「えひめ多職種連携ワークショップ」はチーム医療を基盤とした円滑な地域医療を提供することを目標とし、学生同士に繋がりを深めることを目的として開催します。今回は終末期医療をテーマとしてグループディスカッションに加え、他職種の仕事をロールプレイを通じて知るセッションを企画しています。

・離島検診を体験するワークショップ (平成27年5-8月予定)

内容：学生の離島実習を兼ねて済生丸診療船に乗り、瀬戸内海の島々の検診を学びます。

★3 四国ブロックにおける評議員の会議

四国ブロック支部長 (徳島) 板東 浩

日本プライマリ・ケア(PC)四国支部ブロック支部における評議員の会議が5月15日(金)、ホテルグランフォーレ(四国中央市)で開催されました。本ブロック支部から21名が参加しました。

その内容としては、日本PC連合学会理事会等情勢報告、平成26年度決算および事業報告、平成27年度予算および事業計画、四国ブロック支部論文集や支部ニュースレター発行などが協議されました。



また、第27年度第15回四国ブロック学術集会(香川)が11月21~22日に高松市で行われます。今回の大会長は中津守人先生(三豊総合病院)であり、テーマは「プライマリ・ケアをより魅力的にするために~プライマリ・ケアにおける人材育成と生涯研修~」となっています。この詳細については、次項で示します。

さらに、第8回日本PC連合学会学術大会が、四国支部の主催により今から2年後、平成29(2017)年5月12~14日に、高松駅周辺にあるサンポートホール高松やクレメントホテル、他で開催されます。これについても、今後の業務スケジュールなどについて検討されました。これから、オール四国の体制で、いろいろな準備を進めて参りたいと存じますので、ご理解ご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

第6回日本PC学会学術大会(2015)はつくば市において、第7回日本PC連合学会学術大会(2016)は浅草において開催されます。

皆様におかれましては、各学術大会における現場において、講演やワークショップ、シンポジウムなどに参加されていろいろと感ずることがあると存じ



ます。様々な情報を、四国の評議員の先生までお伝え頂ければ幸いです。

★4 香川で四国大会を開催 (11月21～22日)

大会長 中津守人、四国ブロック副支部長 大原昌樹

＜平成27年度香川プライマリ・ケア研究会、第15回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部、第22回四国地域医学研究会学術集会・合同集会＞ 開催のご案内

三豊総合病院 地域医療部 中津守人

下記の通り、学術集会・合同集会を香川県で開催することとなり、準備を進めております。

開催日程：平成27年11月21日(土) 14:00～18:30

平成27年11月22日(日) 8:30～12:40

テーマ：『プライマリ・ケアをより魅力的にするために』

～プライマリ・ケアにおける人材育成と生涯研修～

会場：1日目 リーガホテルゼスト高松(高松市古新町9-1)

2日目 香川県医師会館3階大会議室(高松市浜ノ町73-4)

(1日目と2日目で会場が異なりますので
ご注意ください)



プログラム

1日目：平成27年11月21日(土)

14:00～開会

14:10～16:55 一般演題(1日目)

17:05～17:20 プライマリ・ケア連合学会理事長 丸山泉先生 ビデオ講演

17:20～18:20 特別講演 鈴木富雄先生

大阪医科大学地域総合医療科学寄付講座特任教授、大阪医科大学附属病院総合診療科科長

18:30～21:00 懇親会(リーガホテルゼスト高松)

2日目：平成27年11月22日(日)

8:30～9:00 後期研修医ポートフォリオ発表会

9:00～10:20 『臨床推論セミナー』入江聰五郎先生 入江病院副院長

10:30～12:30 一般演題(2日目)

(終了後 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部総会を開催予定です)

事務局：香川県医師会事務局 担当 長尾 TEL：087-823-0155

その他問い合わせ：中津守人(三豊総合病院) nakatsu@mitoyo-hosp.jp

今回は、香川プライマリ・ケア研究会との共催となり、1日目は、多職種が参加します。学生の発表は、できれば2日目をお願いできれば幸いです。学生や研修医の先生、そして他の職種も含め、どのようにすればプライマリ・ケアに魅力を感じてもらえるのか、人材育成や生涯教育について考える機会になればと考えています。参加申し込み、一般演題の募集要項などは、平成27年6月頃、送付させていただく予定です。

一般演題については、テーマに関係なく、プライマリ・ケアに関するものであれば何でも結構です。ご参加ならびに、演題発表をよろしく願いいたします。